

# 大阪湾漁場環境速報

2019年12月 9日発行  
兵庫のり研究所

この海域全域で大型珪藻コシノディスカスが確認されており、一部発生量の多い海域も見られています。窒素は全域において5  $\mu\text{g-at/L}$ 以上となっており、各ノリ漁場周辺での栄養塩は特に問題ない値で推移しています。

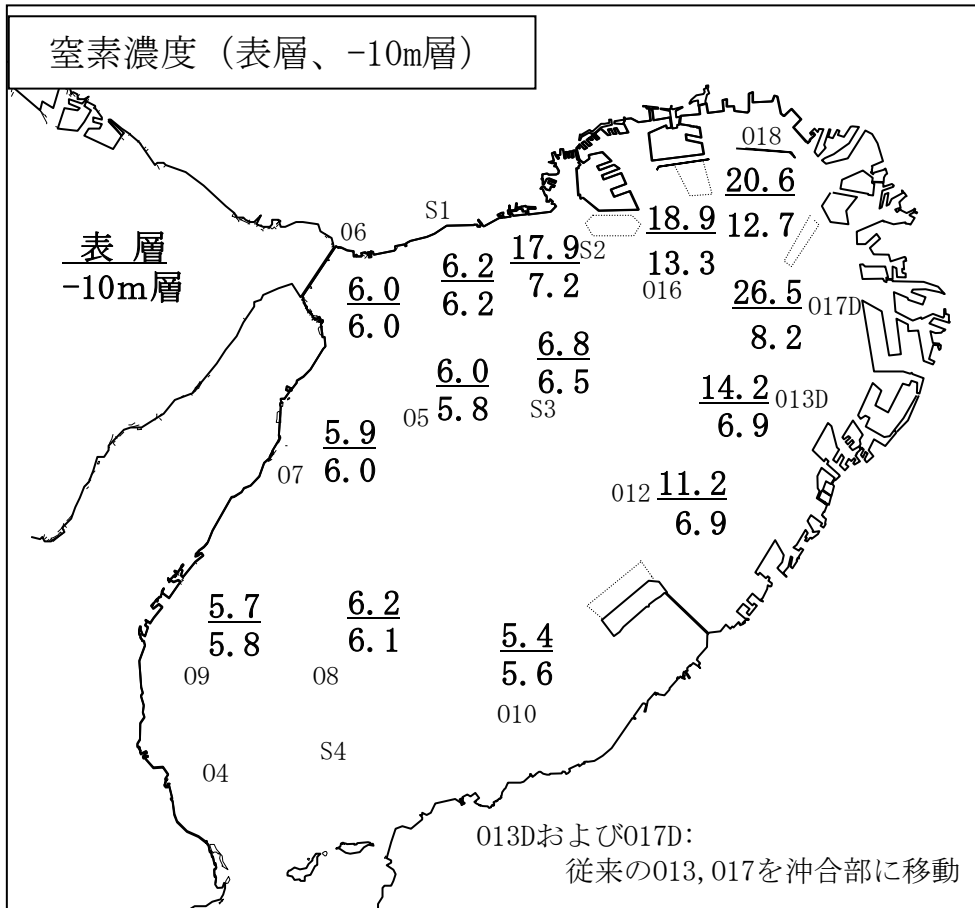
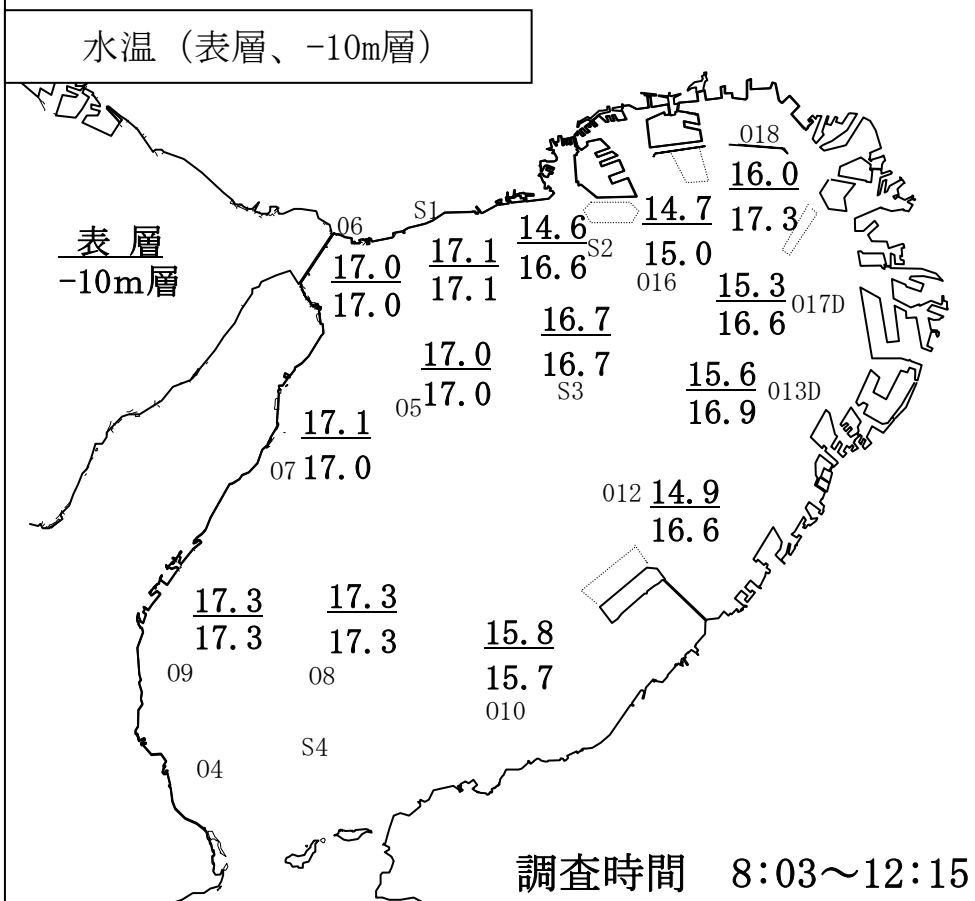
(水温) 表層は湾内14~17°C台で、平均16.3°C。平年比約0.8°C低い。-10m層は平均16.7°C (平年比-1.2°C)。

(塩分) 表層平均31.97psu(平年 31.83)。-10m層平均32.25psu(平年 32.18)。

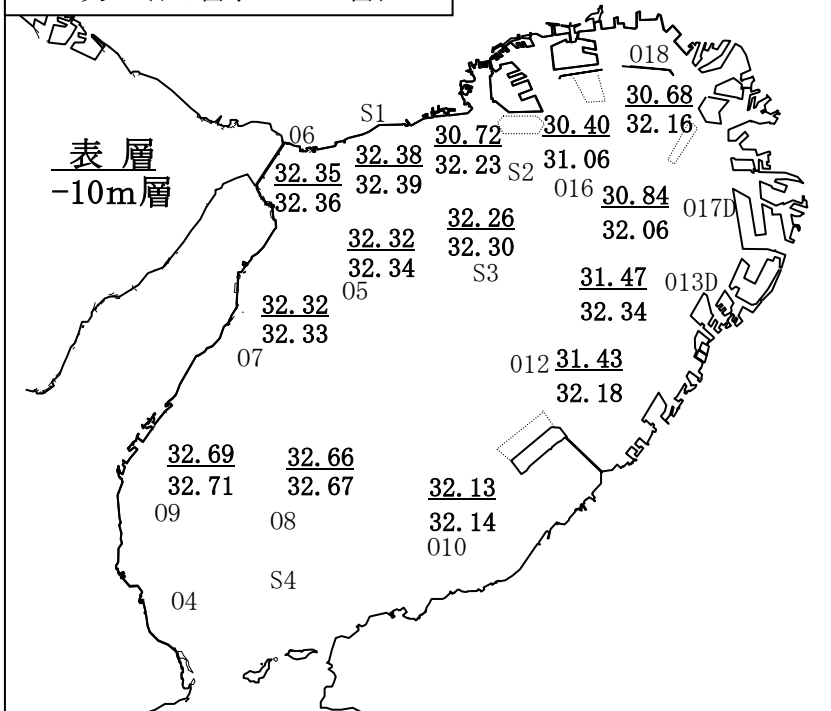
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均8.7  $\mu\text{g-at/L}$ 、リンは平均0.63  $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素は平年(9.4  $\mu\text{g-at/L}$ )よりやや低くリンは平年(0.63  $\mu\text{g-at/L}$ )並み。-10m層(平均)は、窒素6.9  $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.60  $\mu\text{g-at/L}$ 。コシノディスカスが全域で確認されており、神戸市地先東部や大阪府沿岸・淡路東浦の志筑沖では全般に海水1Lあたり200~350細胞と発生量が多い。その他の珪藻は湾奥でスケルトネマが少し確認された以外、ほとんど認められなかった。

上段 (今回値)	2019年12月 9日調査
中段 (昨年値)	平成30年12月 4日調査
下段 (平年値)	12月上旬

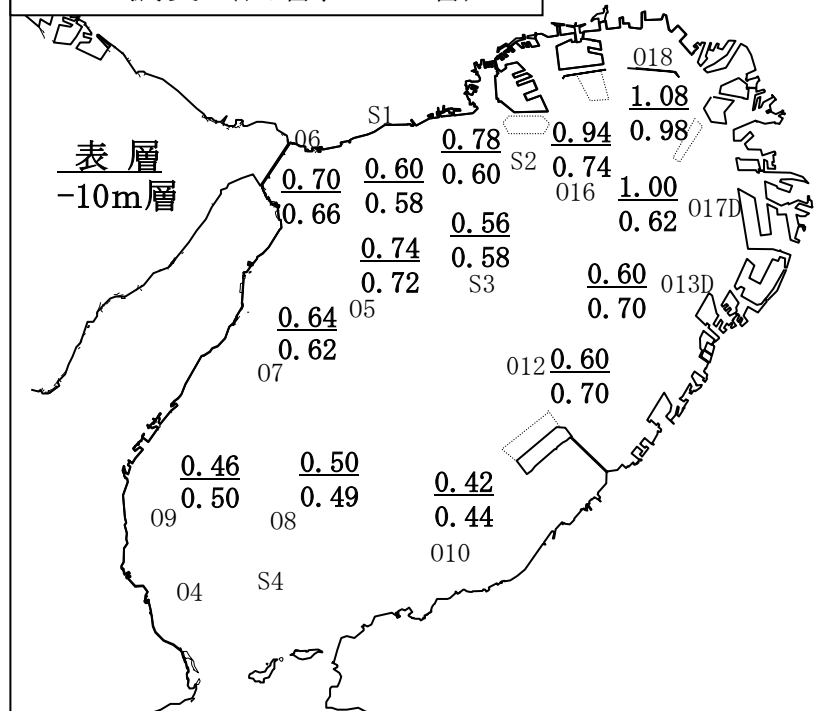
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ( $\mu\text{g-at/L}$ )	磷酸 ( $\mu\text{g-at/L}$ )
04	18.0	32.79	6.4	0.55
	17.0	32.32	6.0	0.74
05	18.5	32.37	9.3	0.60
	17.4	32.09	7.2	0.64
06	17.0	32.35	6.0	0.70
	18.4	32.44	8.5	0.60
07	17.5	32.12	7.4	0.65
	17.1	32.32	5.9	0.64
08	18.5	32.45	7.9	0.60
	17.6	32.14	7.0	0.64
09	17.3	32.66	6.2	0.50
	18.1	32.28	7.9	0.55
010	17.8	32.34	7.1	0.60
	17.3	32.69	5.7	0.46
012	17.8	32.52	6.4	0.57
	15.8	32.13	5.4	0.42
013D	17.9	31.96	9.5	0.60
	16.9	31.85	9.0	0.65
016	14.9	31.43	11.2	0.60
	17.4	31.61	10.3	0.55
017D	16.4	31.40	11.1	0.63
	15.6	31.47	14.2	0.60
018	18.1	31.71	14.4	0.67
	16.4	31.16	13.8	0.69
S1	14.7	30.40	18.9	0.94
	17.3	30.68	19.3	0.87
S2	15.9	30.21	17.3	0.69
	15.3	30.84	26.5	1.00
S3	17.8	29.83	30.0	1.10
	16.2	30.03	23.7	0.93
S4	16.0	30.68	20.6	1.08
	17.4	29.52	32.0	1.53
04	16.1	29.58	23.8	0.94
	17.1	32.38	6.2	0.60
05	17.5	31.21	14.2	0.70
	16.5	31.51	11.5	0.67
06	14.6	30.72	17.9	0.78
	17.1	30.67	19.6	0.86
07	16.0	30.61	15.7	0.70
	16.7	32.26	6.8	0.56
08	18.4	32.41	7.7	0.59
	17.2	31.74	8.4	0.58
09	17.4	32.49	7.3	0.61
	17.4	32.49	7.3	0.61



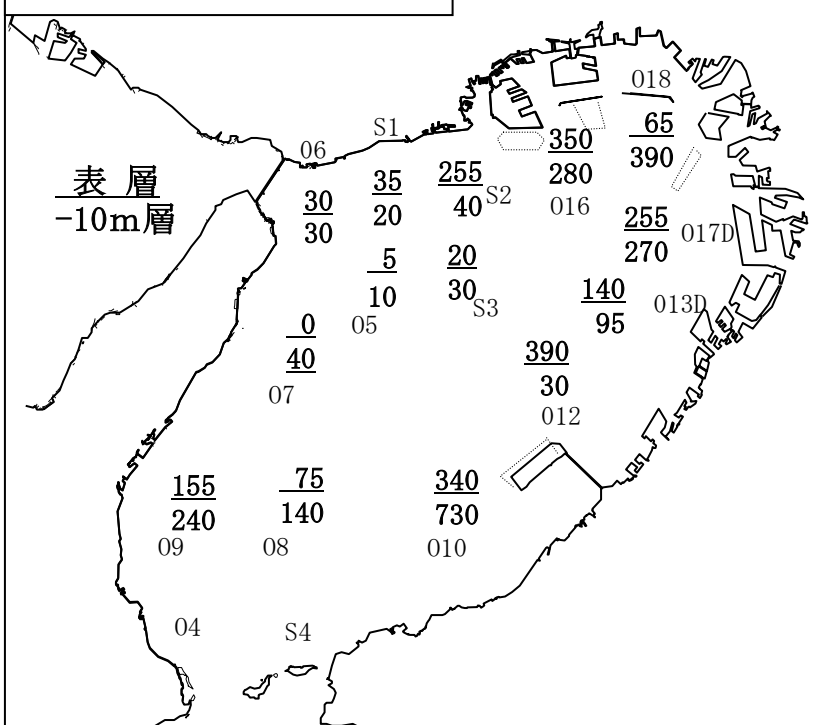
塩分 (表層、-10m層)



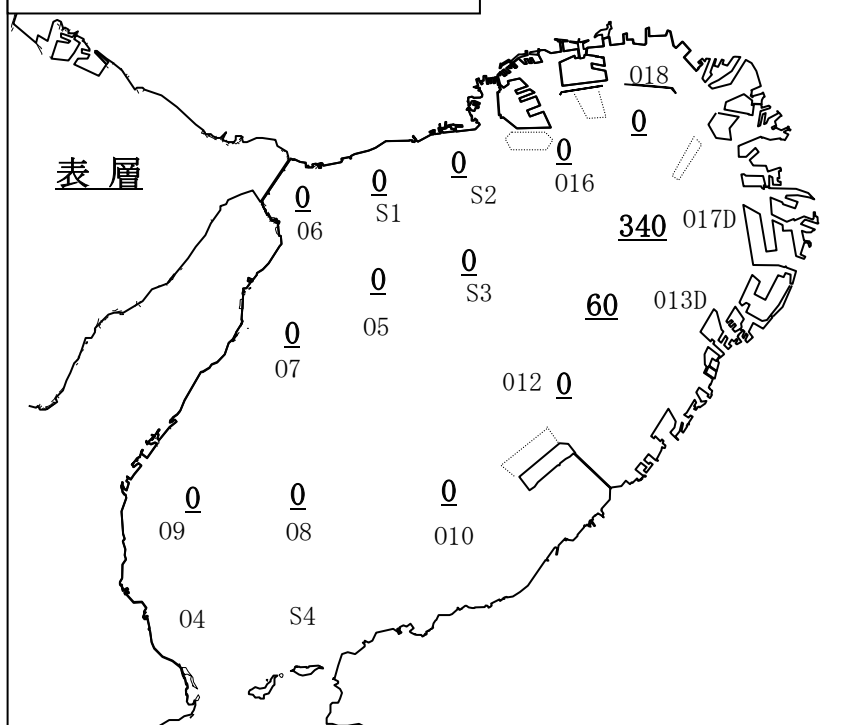
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

